

科目名	高度実践看護学演習 Topics in Advanced Practice Nursing
授業形態	演習
標準履修年次	1年次
実施学期・曜時限等	通年 応談
実施場所	
単位数	2単位
担当教員名	日高紀久江 Hidaka Kikue 森 千鶴 Mori Chizuru 水野 道代 Mizuno Michiyo 柴山大賀 Shibayama Taiga
ティーチングフェロー(TF)・ ティーチングアシスタント(TA)	
オフィスアワー等	事前に確認し訪室すること
授業の到達目標 (学習成果)	医療システムのなかで、病院から在宅までの継続的な看護における疾病予防から療養上の健康問題に関する臨床判断について学習し、また、医学的な処置やケア、治療的な看護介入に関する知識ならびに技術を習得する。
他の授業科目との関連	
履修条件	
授業概要	高度な看護実践の基礎となる科学的根拠を自ら作り、臨床現場で活用するための方法論を、討議や演習を通して実践的に探求できるよう教授する。
キーワード	継続看護(continuing nursing care)、地域包括ケアシステム(The Integrated Community Care System)、臨床判断(clinical judgement)、看護実践の評価(evaluation of the nursing)、根拠に基づく医療・看護(evidence-based medicine・nursing)
授業計画	1 日本の医療の現状と課題 2 地域包括ケアシステムにおける看護の役割 3・4 医療に関する法律、保健医療福祉制度 5・6 疾病予防とヘルスプロモーション 7・8 発達段階に基づいた生活指導と看護支援 9・10 地域で実施されている主な医療的な処置とケア、治療的な看護ケア 11・12 対象者ならびに家族のメンタル面での看護支援 13・14 臨床判断に必要な技術(1)病歴・生活史の聴き取り 15・16 臨床判断に必要な技術(2)フィジカルイグザミネーション① 17・18 臨床判断に必要な技術(2)フィジカルイグザミネーション② 19・20 臨床判断に必要な技術(3)検査方法と検査データの読み取り方① 21・22 臨床判断に必要な技術(3)検査方法と検査データの読み取り方② 23・24 臨床判断と包括的アセスメント(1) 25・26 臨床判断と包括的アセスメント(2) 27・28 臨床判断と包括的アセスメント(3) 29・30 医学的診断、治療に関する患者・家族の意思決定支援、倫理的課題 31・32 エビデンスに基づいた看護実践とその評価手法(1) 33・34 エビデンスに基づいた看護実践とその評価手法(2) 35・36 エビデンスに基づいた看護実践とその評価手法(3) 37・38 エビデンスに基づいた看護実践とその評価手法(4) 39 多職種連携と患者ケアのマネジメント 40 看護の質の保証と看護管理上の課題、看護のイノベーション

学修時間の割り当て及び授業外における学修方法	各自の専門領域を基盤として、地域での問題や具体例や解決方法について、積極的に思考する態度をもつこと。また、教員や他の学生との討論によって、臨床現場における応用力を向上させること。
成績評価方法	<p>評価方法と評価配分 発表と討論の内容(50%)、レポート(50%) 評価基準</p> <ol style="list-style-type: none"> <li>1 日本の医療のなかでの継続看護の問題点や課題について、自らの意見を述べることができる。</li> <li>2 地域に必要な予防ならびに生活指導の具体的な内容について説明できる。</li> <li>3 地域で実施されている主な医療的な処置とケア、治療的な看護ケアを理解し実施できる。</li> <li>4 臨床判断を導くために必要な看護技術の理解を深め、そのプロセス、留意点について説明できる。</li> <li>5 エビデンスに基づいた看護実践の介入方法とその評価について理解できる。</li> <li>6 地域での患者や家族の心理的な問題とその対応方法について考察できる。</li> <li>7 地域での看護管理上の問題点について自らの意見を述べるができる。</li> <li>8 講義や発表内容について、科学的、論理的な視点からの討論により、専門性の高い看護実践をおこなうための課題や方向性を提示できる。</li> </ol> <p>上記に対応した評価基準は以下のとおりである。 A+ 上記1～8を自身で達成できる。 A 上記1～8をほぼ自身で達成できる。 B 上記1～8を教員の指導を受けながら達成できる。 C 上記1～8を教員の指導を受けながら概ね達成できる。 D 上記1～8を教員の指導のもとでも達成できない。</p>
教材・参考文献・配布資料等	適宜参考資料を提示する。
その他(受講生にのぞむことや受講上の注意点等)	